

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 令和2年4月1日～令和6年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市蘇我スポーツ公園
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	・広域的なスポーツ拠点及び市民スポーツ振興の拠点として、それぞれの施設の特徴を生かし、大規模な大会から市民の利用まで幅広く受け入れ、市におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図り、市民の健康・体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。 ・蘇我球技場を中心に、集客スポーツ施設としてトップスポーツの誘致や大規模イベントの開催など地域（経済）活性化に寄与する。 ・千葉市蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、災害時の防災拠点となる施設を目指す。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	①市民の競技スポーツ育成・発表の場として、スポーツの振興、競技力の向上又は市民交流の拠点施設として、市民総体や全市規模の大会の誘致開催を目指すとともに、市民のスポーツ利用の場を提供する。 ②蘇我球技場を中心に、トップスポーツの拠点施設として、ホームゲーム開催やホームタウンの推進に寄与する。 ③市民のスポーツ・レクリエーション振興のため、また地域のコミュニティの場として、市や区の催しや大規模なイベント等の開催場所を提供する。 ④非常時には広域防災拠点として、その機能を発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築する。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しつつ、本施設の提供する「市民サービスの向上」による利用者の満足度を向上し、「管理経費の縮減」による財政負担の軽減等の効果を見込んでいます。
指定管理者名	S S P U N I T E D
構成団体 (共同事業者の場合)	株式会社千葉マリスタジアム ジェフユナイテッド株式会社 日本メックス株式会社 日本体育施設株式会社
指定期間	令和2年4月1日～ 令和7年3月31日（5年）
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

2 成果指標等の推移

(1) 蘇我球技場の成果指標（成果指標1）

①利用者数及び入場者数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	78,700人	144,380人	184,395人	254,552人	165,507人
数値目標※	350,000人 (345,000人)	350,000人 (345,000人)	350,000人 (345,000人)	350,000人 (345,000人)	
達成率	22.5% (24.6%)	41.3% (41.8%)	52.7% (53.4%)	72.7% (73.8)	47.3% (48.4%)

②フィールド稼働日数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	48日	66日	62日	61日	59日
数値目標※	80日	80日	80日	80日	
達成率	60.0%	82.5%	77.5%	76.3%	74.1%

(2) 蘇我球技場以外のスポーツ施設の成果指標（成果指標2）

①利用者数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	169,418人	322,082人	507,906人	627,196人	406,651
数値目標※	450,000人 (420,000人)	450,000人 (420,000人)	450,000人 (420,000人)	450,000人 (420,000人)	
達成率	37.6% (40.3%)	71.6% (76.7%)	112.9% (120.9%)	139.4% (149.3%)	90.4% (96.8%)

②施設稼働率

ア) 多目的広場

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	52.9%	64.0%	68.0%	65.2%	61.6%
数値目標※	67%(65%)	67%(65%)	67%(65%)	67%(65%)	
達成率	79.0%(81.4%)	95.5%(98.5%)	101.5%(104.6%)	97.3%(100.3%)	93.3%(96.2%)

イ) 庭球場

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	59.7%	63.6%	58.9%	63.0%	60.7%
数値目標※	68.0%	68.0%	68.0%	68.0%	
達成率	87.8%	93.5%	86.6%	92.6%	89.3%

ウ) 第1多目的グラウンド

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	60.3%	58.5%	60.2%	59.2%	59.7%
数値目標※	66%(65%)	66%(65%)	66%(65%)	66%(65%)	
達成率	91.4%(92.8%)	88.6%(90.0%)	91.2%(92.6%)	89.7%(91.1%)	90.2%(91.6%)

エ) 第2多目的グラウンド

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	23.1%	31.6%	44.0%	37.6%	32.9%
数値目標※	32.0%	32.0%	32.0%	32.0%	
達成率	72.2%	98.8%	137.5%	117.5%	102.8%

オ) 円形野球場

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
実績値	22.3%	28.1%	35.1%	39.7%	28.5%
数値目標※	52.0%	52.0%	52.0%	52.0%	
達成率	42.9%	54.0%	67.5%	76.3%	54.8%

成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

				令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	合計
必須業務	収入	指定管理料	実績	271, 529	230, 121	228, 685	227, 268	957, 603
			計画	238, 228	230, 121	228, 685	227, 268	924, 302
		利用料金	実績	101, 946	167, 247	176, 883	198, 623	644, 699
			計画	141, 687	149, 180	150, 673	152, 180	593, 720
		その他	実績		3, 639	7, 103	8, 295	19, 037
			計画					0
		合 計	実績	373, 475	401, 007	412, 671	434, 186	1, 621, 339
			計画	379, 915	379, 301	379, 358	379, 448	1, 518, 022
		支 出	実績	362, 625	375, 298	387, 813	393, 262	1, 518, 998
			計画	379, 915	379, 301	379, 358	379, 448	1, 518, 022
	収 支	実績	10, 850	25, 709	24, 858	40, 924	102, 341	
自主事業	収 入	実績	38, 489	57, 260	118, 073	157, 875	371, 697	
		計画	44, 575	44, 655	48, 655	47, 255	185, 140	
	支 出	実績	24, 762	50, 844	95, 468	124, 999	296, 073	
		計画	25, 017	25, 572	27, 696	25, 362	103, 647	
	収 支	実績	13, 727	6, 416	22, 605	32, 876	75, 624	
総収入			実績	411, 964	458, 267	530, 744	592, 061	1, 993, 036
総支出			実績	387, 387	426, 142	483, 281	518, 261	1, 815, 071
総収支			実績	24, 577	32, 125	47, 463	73, 800	177, 965
利益の還元額			実績	なし	なし	なし	なし	
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成		
(1) 蘇我球技場の成果指標	D	R2、R3年度はコロナ禍の影響で大規模な大会が中止。Jリーグについても無観客試合での開催や、興行動員数の減少が影響したこと、またR4、R5についてはオフシーズンに大規模改修を行ったことに伴い、貸し出しができなかったことから目標に達しなかった。
(2) 蘇我球技場以外のスポーツ施設の成果指標	C	R2、R3は、コロナ禍に伴う利用制限や大会等の開催自粛により利用者数が大きく落ち込んだが、R4より春に加えて夏にも音楽フェスを開催したこと利用者数は大きく増加した。円形野球場（スタジアム）については目標に達しなかったが、R3より導入したナイター設備の利用が進むにつれ、稼働率も上昇傾向にある。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	コロナ禍に伴う施設利用の休止によるキャンセル対応に迅速に対応したほか、大規模イベントについては県の指針を踏まえた利用制限等の対応を適切に行うなど、安全な施設運営に努めた。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	各種研修に積極的に参加し、設備職員の専門資格取得を継続的に進めている。
(2) 施設の維持管理業務	B	当初はフィールド管理水準に満たない部分があったが、従事職員を増やすなど計画以上の作業を取り組んだ。また利用頻度の高い区域については園地管理を一部直営に切り替え、迅速かつきめ細やかな管理を行った。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	開館時間についてはイベント主催者の希望や利用者の利便性向上のため可能な限り対応した。
(2) 利用者サービスの充実	C	利用者ニーズの把握のためアンケートの実施を行うこととしているが、蘇我球技場ではR4まで実施できておらず、他施設でも調査内容や結果分析が不十分であったなど課題があったものの、R5は、蘇我球技場では基準以上の回数を実施し、他施設は常設アンケートに加え指定管理者の職員が積極的にヒアリングを行うなど、改善が図られた。
(3) 施設における事業の実施	B	コロナ禍の影響から大規模な事業の実施は難しい状況であったが、春と夏に2回開催される音楽フェスの受入れにあたっては主催者と連携し、安全・快適な利用環境の提供に努めるとともに、地元企業との連携による野球教室を開催するなど、施設の利活用を促進を図った。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮、大規模災害時の対応、プロスポーツ・競技団体との連携、トップレベルの球技大会の開催、特別提案)	B	除草作業については市内の障害者支援施設と連携して実施したほか、不定期であるが、Jリーグ開催時に障害者自立支援施設の運営による売店を出店した。また、ボードエリアへの監視カメラの設置や、パブリックビューイング開催などの特別提案を適宜実施した。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

指定期間1～2年目は、新型コロナウイルス感染症による利用制限や利用自粛の影響から、利用者数の大幅な減少、計画していた自主事業の見送りを余儀なくされるなど、非常に厳しい状況下での施設運営となり、目標の達成が困難な状況であった。R4以降は利用者数も回復基調となり、各種目の大会利用をはじめ、春・夏の音楽フェスや九都県市合同防災訓練で利用されたが、非常に過密なスケジュールの中、各団体との利用調整や安全・安心、快適な利用環境の確保などに努めていた。 施設維持管理業務については、R2当初、蘇我球技場（アリーナ）の天然芝のコンディションに課題があったが、その後、豪雨や高温への対策を行いつつ、使用資材や管理方法を工夫し、現状では土壌環境を含めて改善が図られているところである。 その他、第2多目的グラウンドの外野天然芝の管理についても、音楽フェスによる踏圧の影響を受けるため、施設を閉鎖して芝の養生を行うが、可能な限り期間短縮に努めていた。なお、施設管理、園地管理についても不具合・破損が確認された場合は迅速に対応するとともに、遅滞なく市への報告・相談を行っていた。 以上の事から、当初見込んでいた効果は概ね達成できたといえる。
--

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

蘇我球技場は、プロサッカー興行での利用をはじめ、大学・高校サッカー、その他の大会やイベントなど、利用が過密な状況が継続しており、指定管理者には多くの利用を効率的に受け入れる利用調整のノウハウが蓄積されており、指定管理者の切り替えに際しては、サービス水準が低下しないよう、次期指定管理者へのノウハウ等の継承が重要となっている。 指定管理者に対しては自主事業の実施を認めているものの、都市公園法令や基準との適合性の判断に時間を要するため、民間事業者である指定管理者のスピード感に差があるなど、課題を抱えている。 蘇我スポーツ公園は通常時の運動公園としての側面と、発災時の防災拠点としての側面の2つの機能を有するほか、Jリーグのホームスタジアムとしての運用や、大規模な音楽フェスの開催地となっていること、今後は各施設の老朽化に伴う大規模改修が増加することが考えられるなど、施設の管理運営上考慮すべき事情が多く、利用調整にあたっての指定管理者の負担が大きくなっている。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) ○○局指定管理者選定評価委員会の意見

--